

寄贈図書リスト

〔UNIFIED SYMMETRY〕

Behram N. Kursunogla, Stepher Mintz, Arnold Perlmutter 編, Plenum, B 5 判, 302 p, 英語, 研究会収録

「やさしいアンドロイドの作り方」

福江 純著, 大和書房, B 6 判, 203 p, 読み物, 1500 円

月報だより

外国籍の方の場合, 法令に基づいて任期を定める場合があります。

人事公募

国立天文台教官

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台教官

1. 助教授 1 名および助手 1 名
2. (1) 大型光学赤外線望遠鏡計画推進部
(2) 当面, 東京都三鷹市 (近い将来ハワイ勤務もありうる)
3. 光学赤外線天文学及び関連分野
大型光学赤外線望遠鏡計画推進部は, 光学赤外線天文学研究系, 天文機器開発実験センターなどと共に, ハワイに設置する 8 m 光学赤外線望遠鏡「すばる」の建設を推進しています。「すばる」望遠鏡計画の推進と観測的研究に強い意欲を持ち, 観測装置の開発・製作, 望遠鏡の立ち上げ, 天体画像の処理システム, 制御ソフトの開発・研究に積極的な役割を果たす助手 1 名を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 助教授は大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の学力をもつ方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概略を含む), (3) 研究論文リスト, 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書 (希望職種を明記のこと), (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に, 前記事項(1)~(5)の概要がわかる書類。
8. 締切: 1996 年 7 月 31 日(水) 必着。
9. (1) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台大型光学赤外線望遠鏡計画推進部主幹 海部宣男 TEL: 0422-34-3612
10. 封筒の表に「望遠鏡計画推進部助教授人事応募書類在中」または「望遠鏡計画推進部助手人事応募書類在中」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。
なお, 外国籍の方の場合, 法令に基づいて任期を定める場合があります。

1. 教授 1 名
2. (1) 所属は前もっては指定しない
(2) 分野により, 国立天文台各キャンパスのいずれか (ハワイ勤務もありうる)
3. 天文学及び関連分野
共同利用機関としての国立天文台の役割を認識しつつ, 新しい研究分野の発展に積極的に取り組み, 指導力を発揮する人を求めます。理論, 観測, 開発等の種別を問いません。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト, 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に, 前記事項 (1)~(5) の概要がわかる書類。
8. 締切: 1996 年 7 月 31 日必着。
9. (1) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
企画調整主幹 観山正見 0422-34-3738
10. 封筒の表に「国立天文台教授人事応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。なお,

京都大学総合人間学部基礎科学科助手

1. 助手 1 名
2. 自然構造基礎論講座 粒子・宇宙基礎論分野
3. 広い意味の素粒子論 (宇宙論を含む)
4. 物理学基礎論実験を含む実験・演習・輪講等を担当して頂く。
5. できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有するか、又は近く取得見込みの方
7. ○ 略歴書, ○ 研究歴, ○ 業績リスト, ○ 主要論文 5 編以内の別刷各 1 部, ○ 今後の研究計画, ○ 連絡先・電話番号, ○ 推薦書又は応募者について意見を求め得る方 1~2 名の氏名と連絡先
8. 1996 年 8 月 30 日(金)必着
9. (1) 〒 606-01 京都市左京区吉田二本松町
京都大学総合人間学部基礎科学科
自然構造基礎論講座主任
毛利明博
電話 075-753-6792
- (2) 同講座 粒子・宇宙基礎論分野
松田 哲
電話 075-753-6781 FAX 075-753-6804
10. 「助手応募書類在中」と表記し、簡易書留で送付のこと。

宇宙科学研究所教官

1. 助手 1 名
2. (1) 宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学第 3 部門
(2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
3. 4. 主に、飛翔体を用いた X 線, γ 線, 高エネルギー粒子線等の観測に基づく天体物理学の研究, および飛翔体に搭載する観測装置の開発研究を行うと同時に、関連研究部門と協力して、研究所の共同利用計画の推進に積極的に参加する。同部門には楨野文命教授および村上敏夫助教授が在籍しております。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程修了、またはそれと同等以上
7. (1) 略歴 (2) 研究歴 (3) 論文リストおよび主要の論文別刷り (4) 研究計画書 (5) 本人について意見を述べることでできる人 2 名の氏名と連絡先 (6) 他薦の場合は(1), (2), (3)と推薦書 2 通。
8. 1996 年 8 月 30 日(金)必着
9. (1) 〒 229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
電話 (代表) 0427-51-3911
- (2) 〒 229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 宇宙圏研究系主幹 楨野文命

電話 0427-51-3911 内線 2621
Fax 0427-59-4253
E-mail makino@astro.isas.ac.jp

10. 封筒の表に「宇宙圏研究系助手応募(推薦)書類在中」と朱で明記してください。選考は宇宙科学研究所運営協議委員会において行います。適任者がいない場合には決定を保留することがあります。

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教官

1. 教授 1 名
2. 宇宙物理学研究室 (U研)
3. スペースからの赤外線観測による宇宙物理学の研究
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
7. ○ 履歴書 1 通, ○ 研究歴, 研究計画書, 論文リスト各 1 通, ○ 主要論文別刷各 2 部, ○ 本人に関する意見を求めうる方 2 名の氏名と連絡先, ○ 他薦の場合は推薦書, ○ 着任可能時期
8. 1996 年 9 月 9 日(月)必着
9. (1) 〒 464-01 名古屋市中千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科
物理学教室主任 垣谷俊昭
電話 (FAX 兼用) 052-789-3528
- (2) 宇宙物理学研究室 山下廣順
電話 052-789-3540 FAX 052-789-2919
10. 封筒の表に「宇宙物理学教授応募書類在中」と朱筆し、書留で送付のこと。

研究会・集会案内

郵政省通信総合研究所

平磯宇宙環境センター一般公開のお知らせ

平磯宇宙環境センターでは、太陽や地球磁気圏等の宇宙環境の研究を行っています。また、人工衛星や世界各地の観測データ、及び独自の観測データを基にして太陽フレア、地磁気嵐及び電離層のじょう乱現象に関する予報を行っています。

一般公開では太陽の光学/電波観測施設や、宇宙環境情報サービスのデモ等をご覧になれます。

日 時：7 月 20 日(土) (海の日) 10 時~ 16 時
場 所：平磯宇宙環境センター

〒 311-12 ひたちなか市磯崎町 3601

問合せ先：電話 029-265-7121 (代表)

FAX 029-265-9709

インターネット <http://hirweb.crl.go.jp>

東京大学理学部天文学教育研究センター
木曾観測所特別公開について

日時/期間：1996年8月3日(土)/4日(日)

開催場所：

住所：〒397-01 長野県木曾郡三岳村 10762-30

電話番号：0264-52-3360

FAX番号：0264-52-3361

内容：木曾観測所特別公開（観望会を含む）、
百武彗星展覧会

〈木曾観測所特別公開〉

木曾観測所施設を公開します。普段見ることのできない望遠鏡の動きや測定装置、木曾観測所で撮影された写真等を見学していただけます。また、3日の夜には観望会を開きます。小望遠鏡等を用いて惑星等を観望します。

- 1) 木曾観測所施設の公開
- 2) シュミット望遠鏡のデモンストレーション
- 3) ビデオ、スライドの上映
- 4) 天体写真の展示及び販売
- 5) 研究活動の紹介
- 6) 天体観望会（3日のみ：雨天中止）

※公開時間：8月3日(土) 13時～16時

観望会 19時～22時

8月4日(日) 10時～16時

〈百武彗星展覧会〉

今年になってから大きな話題となった百武彗星の展覧会を行います。この展覧会は木曾観測所で撮影された百武彗星の写真の展示を行なう他、広く一般からの応募を受け付け、特別公開日の期間中皆様から応募のあった写真を展示コーナーに展示して見学者に見ていただけます。この展覧会に展示を希望される方は、以下の要領で必要事項にご記入の上、写真に同封して木曾観測所宛お送り下さい。

写真：できればキャビネか六つ切りの大きさ

プリントのみ(スライドは受け付けられません)

※なお写真は返却しません。

データ：1) 場所(できるだけ詳しく)

- 2) 日時
- 3) 機種(カメラ), レンズ
- 4) フィルム(使っていればフィルター)
- 5) 露出時間, F
- 6) 撮影者氏名, 年齢(本人の写真)
- 7) 連絡者住所, 電話番号

その他：締め切りは7月15日(消印有効)とします。

備考：木曾観測所への交通手段については、JR中央線木曾福島駅あるいは上松駅より車で約30分です。観測所から6kmのところまでバスの便があります

(1日数本)。また、食堂、売店はありません。

申し込み：不要

参加費：不要

問い合わせ先：上記 担当者名：青木 勉

電波天文台特別公開のお知らせ

国立天文台 野辺山 野辺山宇宙電波観測所

電波天文学研究系 野辺山太陽電波観測所

当観測所では、天文知識の普及と観測所の仕事を広く知って頂くため、下記の要領で観測所の諸施設を一般の方々に公開いたしますので、ご案内申し上げます。

1. 日時 1996年9月23日(月・祝)

午前10時から午後4時まで

2. 内容

(1) 見学 通常の見学コースの他、45m望遠鏡の観測室、10m6素子干渉計の観測室、電波ヘリオグラフの観測室、観測データを処理する計算機を見学できます。

(2) 展示 宇宙からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組み、最近の観測結果を展示します。

(3) 講演 1 「宇宙を駆ける天文台：VSOP計画」

国立天文台助手 亀野誠二

講演 2 「彗星がやってきた！」

宇宙科学研究所助教授 北村良実

国立天文台助手 渡部潤一

講演 3 「21世紀の天文学と人類の夢」

まんが家 萩尾望都

国立天文台教授 海部宣男

総研大大学院生 百瀬宗武

(4) その他 質問コーナー等

3. 交通

鉄道 JR小海線・野辺山駅下車 徒歩25分

車 東京方面から

中央道・須玉インターより国道141号を

清里方面約40分

名古屋方面から

中央道・小淵沢インターより八ヶ岳有料道

路・国道141号を経て約40分

☆なお、観測所内は食堂はありませんのでご承知おき下さい。また、恐縮ですが、上履き(スリッパ等)を各自ご持参下さい。

☆入場無料です。

問い合わせ先

〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台 野辺山

電話：0267-98-4300(代表)

(担当) 関口英昭, 川辺良平, 西山広太

“International Symposium: Diffuse Infrared Radiation and the IRTS” 開催のお知らせ

日本初の衛星搭載赤外線観測機 IRTS (Infrared Telescope in Space) は、1995年3月18日に打ち上げられました。IRTSは、4つの焦点面観測器を用いて観測を行い、黄道光、星、星間ダスト、星間ガス、赤外線背景放射などについて、多くの重要な結果をもたらしました。この結果を天文学のコミュニティに発表するとともに、その関連する天文学の話題を議論するために、表記のシンポジウムを開催致します。

また、このシンポジウムでは、ISOなどの他のスペース赤外線観測機の結果も紹介される予定です。さらに、将来の衛星計画についても議論を行います。

多くの方のご参加をお待ちしています。

1. 日時 11月11日, 12日, 13日, 14日
2. 場所 宇宙科学研究所
〒229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
3. 内容
 1. Zodiacal light and interplanetary dust
 2. Stars
 3. Interstellar dust and gas
 4. Extragalactic sources and background radiation
 5. Preliminary results of the ISO
 6. Future space infrared missions
4. 主な招待講演者
C. A. Beichman, C. Cesarsky, P.E. Clegg, M. Cohen, TH. de Graauw, E. Dwek, E.F. Erickson, R. Genzel, G. Helou, W. D. Lemke, M. Harwit, H. Okuda, J. Mather, T. Matsumoto, S. H. Moseley, T. Mukai, J. P. Puget, W. T. Reach, T. Tsuji, K. Sellgren, E.F. van Dishoeck, M. W. Werner, E. L. Wright
5. 講演募集
本シンポジウムは、招待講演とともに一般講演を募集致します。講演を希望される方は、以下までご連絡下さい。
6. シンポジウムの詳細
http://koala.astro.isas.ac.jp/irts_symp.html
7. 連絡先
電子メール: irts_symp@koala.astro.isas.ac.jp
文部省宇宙科学研究所 銀河進化物理部門 松本敏雄
住所: 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
電話: 0427-51-3911 (ext.2638)
FAX: 0427-59-4253

研究助成

日本証券奨学財団 平成8年度研究調査助成募集

標記助成金の募集要項が、学会宛に届いております。対象者は、大学に於いて学術文化の研究調査に従事している個人又はグループで、研究者は55歳以下ですが、グループ代表者は55歳以下とは限りません。

理学・工学については、新素材及び環境改善に関する萌芽的研究を重視することです。

◎ 助成金総額: 6,000万円

1件につき100万円程度で、多額の経費を必要とする特別研究調査は、300万円以内。

◎ 申込締切: 天文学会での受付は7月22日までとします。

第4回日産化学賞候補者推薦について

上記の推薦依頼が天文学会にきておりますのでお知らせ致します。

日産科学賞候補者推薦要領

1. 趣旨
若手・中堅の研究者で、特に顕著な業績にたいして表彰し、励ましとさらに研究の発展を期待して支援をする。
2. 推薦基準
自然科学分野(人文・社会科学分野との複合領域を含む)で、下記により学術文化の向上発展に大きな貢献をした満50歳未満(平成9年3月時点)の公的研究機関に所属する研究者とします。
a) 学術研究上重要な発見をした
b) 新しい研究分野を開拓した
※45歳以下で上記基準に該当する方がおられる場合は、優先的にご配慮願います。
3. 推薦者: 貴学協会の代表者
4. 推薦依頼数: 1名
5. 賞の内容: 正賞……賞状, メダル
副賞……研究奨励金500万円(受賞者の研究のための助成金)
6. 推薦手続: 所定の用紙に必要事項を記入し、天文学会に提出して下さい。
7. 学会締切: 平成8年7月31日(水)
8. 問い合わせ: 日本天文学会

日本IBM科学賞について

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせしますので、詳細は当会までご連絡下さい。応募締切は8月15日(木)の消印有効となっております。

名称：日本 IBM 科学賞
 目的：わが国における基礎研究の振興と若手研究者の育成

(財) 宇宙科学振興会
 第6回宇宙科学研究助成候補者募集

候補者資格：

1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、つぎのような領域に該当する基礎研究者（国籍は問わない）

- (1) 物理
- (2) 化学
- (3) コンピューターサイエンス
- (4) エレクトロニクス

2) 平成8年8月15日現在満45歳以下であること

受賞人数：6名（6件）

推薦方法：国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

選考：審査委員会により決定する

賞金：300万円（1件）

発表：推薦者を通じて通知（10月上旬予定）

審査委員会：

- 委員長 福井謙一
- 委員 猪瀬博 江崎玲於奈
- 後藤英一 近藤次郎
- 西島和彦 岩野和生

財団法人宇宙科学振興会（理事長・関本忠弘）では、下記の研究助成候補者を募集しています。関心のある方は募集要領・申請書を請求の上、お申し込み下さい。

1. 助成対象：宇宙物理学（地上観測を除く）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先駆的な研究活動を行う若手研究者（昭和31年4月2日以降生まれの者に限る）。なお、大学・研究機関等、所属長の承諾を得て応募して下さい。
2. 助成件数及び助成金額：1件300万円
3. 応募期限：平成8年10月31日（必着のこと）
4. 問合せ先：

〒229 相模原市由野台3-1-1
 宇宙科学研究所内
 (財) 宇宙科学振興会事務局
 電話 0427-51-1126
 FAX：0427-51-2165

会務案内

1996年度会員名簿について

今年末を目標に1996年度会員名簿を作製する予定です。

会員の方々に次の項目に該当する方は本号にはさみ込みの専用はがきで7月10日までに日本天文学会名簿係にご連絡下さい。

1. 自宅住所、勤務先を変更された方および1996年中に変更を予定されている方。
2. 電話、FAX番号を変更・新設された方
3. その他、平成7年1月15日現在の名簿内容に変更のある方

★上記について天文学会に連絡していないと思われる方は重複しても構いませんのでお知らせ下さい。

★また、関係機関についてもお目通し下さい。

※毎回、名簿が出てから慌てて変更を申し出る方がおられますのでご注意下さい。

募金のお願い

日本天文学会会員（特に特別会員）の皆様方へ

天文月報5号でお願い致しましたが、IAU京都総会開催のための募金を募っています。天文学会会員、とくに特別会員の皆様に積極的な拠金をお願いいたします。整理の都合上一口千円とさせていただきますが、複数口の拠金を歓迎いたします。

拠金をご面倒でも下記の口座に郵便振替にてお願い致します。

口座名義 IAU97 京都総会事務局

口座番号 00100-4-583134

振り込み用紙は、各支部理事の手元にございます。なお、一万円を越す寄付金については免税処置が受けられますので、ご希望の方は下記の事務局まで、お名前、ご住所、寄付口数をご明記の上ご連絡願います。折り返し、手続きなどを記した募金趣意書をお送り致します。

181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内
 IAU97 京都総会事務局 有本信雄

「日本学術会議会員候補者推薦内規」の変更について

新しく次の条文を付け加える。

第7条 選挙有権者は5名以上が共同して候補者を推薦することができる。推薦書は、候補者の氏名のほかに候補者の見解を表明した文書を添付して選挙管理人に送付する。

2. 選挙管理人は、指定した期日までに受け付けた推薦書の内容を、投票期間の開始時までに公表する。

現内規の第7条以降は、1条ずつ繰り下げる。

この変更は、現内規第11条に従って決定した。

日本学術会議第17期会員候補者の選出について

有権者（特別会員）各位

「日本学術会議会員候補者推薦内規」の変更に伴って、選出方法が変わります。選挙の公示、推薦の受け付けを天文月報に掲載し、また推薦書を天文月報に公開します。ご注意ください。

※選挙期日等については次号（8月号）でお知らせする予定です。

1996年6月1日
選挙管理委員会委員長 谷川清隆

事務室だより

1. 会員の方々へお願い

☆ 住所変更について

各月とも10日を過ぎますと、月報配布準備が終了していますので、その後学会へ着信する住所変更届は手続きが間に合わず、旧の届先へ送られることがありますのでご了承下さい。

また住所変更と同時に刊行物送付先も変更される方は

必ず新しい送付先を明示して下さい。
(住所変更≠刊行物送付先・変更の方もおります)

☆ 銀行の自動引落しを登録されている方へ

毎年4月10日に、新しい年度会費を引き落とすことにさせていただいておりますが、毎回登録会員の10%前後の方々、次の理由で引落せません。

- 1) 口座変更を学会に届けていない。
- 2) 届出口座の資金不足。

お互いに余計な連絡をとり合わなければならないという手間がかかりますので、上記1), 2)の件はご注意ください。なお口座変更は改めて登録をすることになりますので学会事務室まで用紙を請求して下さい。4月10日引き落としの場合は、2月末日までに登録申込が来ていることが条件となります。

☆ 1997年4月から新しい定款の下に学会運営がされると思いますが、それに伴い1997年度の会費の納入額・時期が変わります。詳細は確定次第お知らせしますのでご注意ください。

2. 天文学会事務室のスタッフが少し変わります。

☆ 1986年4月以来、天文学会事務長として皆様にご親しくいただいた嵩地 厚が、学会人事内規により定年(70歳)退職することになりました。これに伴い6月1日より原 寿男が後任として引き継ぐことになりましたのでよろしくお願い致します。

☆ 1983年2月より欧文研究報告の校正事務を担当していました木下敦子が、近々の中に退き、石川尚彦と交替することになります。今のところ事務引き継ぎを含めて両名で仕事を進めております。

☆ 現在の事務室スタッフは、原 寿男、塩見道子、野口治美、山崎利江、欧文研究報告は近藤雅之、石川尚彦、天文月報版下製作は峯尾由紀子が担当しております。

今後ともご指導ご鞭撻の程をお願いします。

(1996. 5. 25. 嵩地, 原)

訂正

1996年3月号「ハヤシ・フェイズが発見された頃」の117ページ、右欄6行目に「マゼラン星雲に観測された若い星団NGC2264」とあるのは誤りで、正しくは「いっかくじゅう座に……」です。(著者、杉本大一郎)

編集委員	関口和寛 (編集長), 末松芳法, 田代 信, 辻本拓司, 中川貴雄, 林 左絵子, 平野尚美, 宮坂正大
平成8年7月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価700円(本体680円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
	電話 (0422) 31-1359 (事務室・月報) 振替口座 00160-1-13595
	5488 (欧文編集)
	5487 (FAX 専用)